様式１

北海道檜山北高等学校の行動計画（グローカル・アグリハイスクール宣言）

全国の農業高校の行動計画		学校において令和元年度に重点化する取組及び具体的方策		
「５つの基本方針」	「10の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	目標達成期間	具体的方策
Ⅰ グローカル教育で人材を育てる学校	①「生徒一人一人を一層成長させる」教育を行います。	地域で行われている行事へ参加する。	A	地域の行事へ積極的に参加し、自らが製造した生産物を販売し、達成感を感じさせ、学習意欲向上につなげる。
	②「世界と日本をつなぐグローカル」教育を行います。	国際交流、海外農業実習等の情報提供を行う。	A	海外農業研修の情報収集及び情報提供を行い、世界に目を向け何ができるかを考えさせる。
Ⅱ 地域社会・産業に寄与する学校	③「地域農業の生産を支える」教育を行います。	出前授業やインターンシップをとおして先進農家の生産技術や経営感覚を養う。	B	出前授業やインターンシップにおいて先進農家へ視察研修を行い、地域農業のあり方を考えさせる。
	④「地域の農業関連産業に寄与する」教育を行います。	地域学習を行い地域の農業関連産業について学ぶ。また、農業後継者や理解者の育成を行う。	A	地域にある農業関連産業や施設の学習を行う。また、原材料の生産から流通を学ばせることで多岐にわたる進路実現の一助とする。
Ⅲ 地球環境を守り創造する学校	⑤「地球環境を守り創造する」教育を行います。	地域環境の現状を把握し、ＧＡＰや有機ＪＡＳ、農薬、化学肥料について学習を深める。	A	化学肥料や農薬について学習することにより適正に使用することができるようにし、生態系を念頭に置いた農業の学習を推進する。 また、ＧＡＰを元にした農場経営を学習する。
	⑥「食農」教育を推進します。	食について興味関心を持たせ、食を介した小中学校等の異校種交流を実施する。	B	異校種の学校と授業研究を行うことで生徒の資質向上につなげる。
Ⅳ 地域交流の拠点となる学校	⑦「地域資源を活用する」教育を行います。	地域資源を活用した加工品の製造及び販売を行い、地域の活性化につなげる。	A	授業において地域資源の研究及び活用を行う。地元食材を用いた加工品製造を行い、地域資源の活用を考えさせる。 また、町外へ地域資源の発信を行っていく。
	⑧「地域交流の拠点となる」教育を行います。	異校種及び異年齢交流を実施する。地域で行われている各種行事へ参加する。	A	花いっぱい運動（地域花壇造成）や学校開放講座を実施したり、ふれあい市場や図書祭りなど地域行事へ参加し、地域社会に根付いた活動を推進する。
	⑨機関・団体と連携した」教育を行います。	地域にある農業改良センターや振興局との連携を行う。	A	檜山振興局との連携（出前授業）を行い、地域に根ざした人材の育成を図る。
Ⅴ 地域防災を推進する学校	⑩「地域防災を推進する」教育を行います	防災教育・安全教育を推進する。	A	安全教育を推進し、農業機械メーカーの方を招いての講習会等を実施し、農作業による事故や食品事故防止に努める。また、ＡＥＤの講習会など積極的に参加する。